

## I 団体の概要

令和7年7月1日現在

団体名	一般財団法人 姫路市まちづくり振興機構					
団体所管課	政策局 企画政策室					
設立	昭和45年(1970年) 4月 28日					
資本金	80,000千円	市出資金	80,000千円	100%		
設立目的						
この法人は、姫路市の総合計画に基づき、都市機能の充実及び都市施設の整備、運営並びに潤いある都市環境の創出、保全に関する事業を行うとともに、緑化意識の普及啓発、スポーツの普及振興及びコミュニティ活動の促進に関する事業を行い、もって都市の健全な発展と市民が健康で心豊かに暮らすことのできる地域社会の形成に寄与することを目的とする。						
寄附行為(定款)に掲げる事業						
1 駐車場の建設及び管理その他の都市施設の運営及び整備に関する事業 2 姫路市が計画し、又は指導する市街地再開発その他地域開発に関する事業 3 スポーツ教室及びイベントの開催、スポーツ施設の管理運営その他のスポーツの普及振興に関する事業 4 緑の創出及び保全に関する事業、緑化イベント、講習会の開催、緑化施設の管理運営その他の緑化意識の普及啓発に関する事業 5 市民活動の促進、教養講座の開催、コミュニティ施設の管理運営その他のコミュニティ活動促進に関する事業 6 市民生活に係る公共施設の利用に関する事業 7 まちの活性化に資する事業 8 商品等の販売提供事業 9 その他この法人の目的を達成するために必要な事業						
主な事業	事業名	R8年度事業費 (予算額)	事業概要			
	緑化事業	507,847千円	緑化普及啓発の促進、温室植物園、好古園等緑化関連施設の管理運営			
	スポーツ振興事業	665,419千円	スポーツ教室の実施、スポーツイベントの開催、総合スポーツ会館等スポーツ関連施設の管理運営			
	コミュニティ活動促進事業	601,397千円	市民センター等コミュニティ施設の管理運営			
	都市施設運営整備事業	432,302千円	駐車場の管理運営、じばさんびる等の賃貸、姫路シーサイドゴルフコースの賃貸			
	商品販売提供事業	186,012千円	活水軒、大手門茶屋、花の家等での商品販売事			
役員員数 (注1)	常勤(注2) (うち市派遣)	非常勤	一般職 (うち市派遣)	嘱託・臨時等		
	役員数	5人(2人)	11人	職員数	29人(4人)	221人
	役員平均年齢(常勤)	64.2歳	役員平均年収(常勤)	4,972千円		
	職員平均年齢(一般職)	41.4歳	職員平均年収(一般職)	6,514千円		
年度		R5	R6	R7(決算見込み)		
市からの財政支出等	委託料	1,205,689千円	1,333,474千円	1,447,974千円		
	補助金					
	貸付金 (年度末残高)					
	損失補償の対象となる借入金					
財	当期収入	2,127,434千円	2,271,333千円	2,358,645千円		
	当期支出	2,030,552千円	2,124,270千円	2,333,812千円		

務	当期収支差額	96,882 千円	147,063 千円	24,833 千円
	次期繰越収支差額	2,488,511 千円	2,635,574 千円	2,660,407 千円
概	総資産	2,844,075 千円	2,944,213 千円	3,028,943 千円
	総負債	355,564 千円	308,639 千円	368,536 千円
況	当期正味財産増減額	96,882 千円	147,063 千円	24,833 千円
	正味財産	2,488,511 千円	2,635,574 千円	2,660,407 千円
ホームページアドレス		<a href="https://himeji-machishin.jp/">https://himeji-machishin.jp/</a>		

注1：役員平均年齢、役員平均年収、職員平均年齢、職員平均年収には、市からの派遣職員は含まない。

注2：常勤役員には、週29時間以上勤務する常勤的な非常勤役員を含む。

## Ⅱ 基本方針

### 1. 団体の前計画期間（令和3年度～令和7年度）における主な取組実績

- ・施設の管理やイベントの開催等を通して、緑化とスポーツの普及啓発や市民のコミュニティ活動の促進を行った。
- ・駐車場の精算機のキャッシュレス対応や大手門駐車場のトイレ改修などを実施し、利用者の利便性の向上を図った。
- ・大手門茶屋や活水軒等でのオリジナル商品の販売や新メニューの提供などにより、収益の向上を図った。また、老朽化したじばさんびる駐車場の営業を休止した。
- ・職場内研修、外部研修への参加や資格取得のサポートなど、職員の能力向上を図った。
- ・不祥事からの信頼回復や職員のコンプライアンス意識の向上のため、定期的な内部監査、コンプライアンス研修、リスク管理規程の策定などを行った。

### 2. 団体を取り巻く環境・経営上の課題

- ・計画期間中に総合スポーツ会館や市民会館の管理が終了する予定であり、管理する施設数の減少が見込まれるなか、緑化やスポーツ事業など公益性の高い事業について、当団体の強みを生かした事業展開を行う必要がある。
- ・最低賃金の上昇や物価高により、コストが増加傾向にあるため、コストに応じた値上げやコストの削減を行う必要がある。
- ・大手前公園地下駐車場をはじめ、施設の老朽化対策として改修資金を確保する必要がある。
- ・出資する姫路ウォーターフロント株式会社への経営支援について、市と協働して検討する必要がある。
- ・手柄山平和公園の再整備により、管理する手柄山温室植物園、緑の相談所の移転が見込まれるため、対応を検討する必要がある。

### 3. 団体の将来像（ビジョン）

- ・姫路市の総合計画に基づき、地域や各種団体と連携して多岐にわたる公益的な事業を実施する団体として、市政への継続的な貢献を軸に、市民のための理想のまちづくりを実現していく。

### 4. 団体の改革の方向性

- ・緑化、スポーツ、コミュニティ活動など公共、公益性が高い様々な分野における事業を機動的かつ効率的に実施するとともに、不採算事業の廃止又は縮小に向けた検討、事業実施に必要な経費の見直しなど、健全経営の維持に向けた検討を行う。

### Ⅲ 健全経営に関する計画

計画期間：令和8年度～令和12年度

#### 1. 経営目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の活性化に資する公益的な事業を展開するとともに、事業の安定的な運営を図るため、健全な財務状況の維持に努める。</li> <li>・職員のおもてなし力や専門性を高めるとともに、効率的かつ質の高い業務体制の構築を目指す。</li> </ul>
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般財団法人として、行政や民間では実施しにくい事業に積極的に取り組むとともに、地域等との協働により事業を展開する。</li> <li>・収益の確保とコスト削減に努めるとともに、事業の見直しを実施する。</li> <li>・職員のコンプライアンス意識の向上を図るとともに、研修制度の拡充等を実施する。</li> </ul>

#### 2. 数値目標・指標

健全経営に関する数値目標	令和6年度実績値	目標値（令和12年度）
運転資金の期末残高	約5.2億円	5億円以上
主催事業の参加人数	121,887人	126,000人
自主事業収入率（自主事業収益／事業収益）	40.60%	45.00%

#### 経営目標達成に向けた取組みの進捗状況やその成果を測るための指標

貸借対照表の現金預金残高

施設利用者アンケートの「とてもよい」「よい」の割合


#### 3. 事業運営の最適化

##### 事業の最適化及び事業実施方法の適正化

緑化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑化施設の管理や市民参加型イベントの開催、関係団体との連携を通して、緑化の普及啓発を行う。</li> <li>・手柄山平和公園の第2期整備への対応を検討するため、姫路市との協議や他都市への視察等を行う。</li> <li>・緑化に関する助成制度について見直しを行う。</li> <li>・緑化事業の新たな展開として、地域コミュニティ事業への参画を模索する。</li> </ul>
スポーツ振興事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育施設の管理やスポーツイベントの開催を通して、スポーツの普及啓発を行う。</li> <li>・スポーツコミッション事業の体制を強化して、大規模スポーツイベントの更なる誘致、企画、運営を行う。</li> <li>・木場ヨットハーバー、書写テニスコートのあり方について検討を行う。</li> </ul>

コミュニティ活動促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区市民センター等を活用して、市民コミュニティ活動を促進するとともに、施設の利用増進を図る。</li> <li>・姫路市が推進する、中学校部活動の地域展開「姫カツ」に関する業務を新たに実施し、姫路市や各地域のスポーツ団体等との協働により、地域のコミュニティ活動の促進を図る。</li> </ul>
都市施設運営整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車料金や賃料等について見直しを検討する。</li> <li>・出資する姫路ウォーターフロント株式会社への経営支援について、姫路市を含めた3者で緊密に連携・情報共有を図り、検討を行う。</li> <li>・手柄山周辺駐車場の満空情報のインターネットでの提供や障害者割引など、施設の利便性の向上を図る。</li> <li>・老朽化施設の将来的な改修資金について、積み立てを行う。</li> </ul>
商品販売提供事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路城周辺の施設において、特産品の販売、観光情報の提供等を行う。</li> </ul>
姫路城イベント実行委員会事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路城観月会、観桜会について、好古園との連携を行うなど、イベントの魅力を高める。</li> </ul>
利用者満足度の把握・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的にアンケートを実施し、利用者の満足度や意見を調査する。</li> <li>・職員向けの接遇研修の実施や姫路の観光等に関する学習機会を提供する。</li> <li>・各施設のおもてなし事例を報告してもらい、全職員で事例を共有する。</li> </ul>

#### 4. 団体運営体制の改善

##### (1) 執行体制

役員体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤役員の人数削減によるスリム化を検討する。</li> </ul>
職員体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の業務分担を平準化する。</li> <li>・適正な人員数を確保するため、計画的に職員採用を行う。</li> </ul>
リスク管理の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当団体のリスク管理規程及び内部統制に関する基本方針について適正な運用を行う。</li> <li>・定期的にリスクの有無や対応策について各部署で検討し、それについて、役員をはじめとする管理職が継続的にモニタリングを実施する。</li> <li>・当団体内部に設置した監査室による内部監査を定期的実施する。</li> </ul>

##### (2) 人事・給与

「外郭団体の職員の給与及びその他の勤務条件に関する指導基準」への適合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適合している。</li> </ul>
人材育成及び士気の高揚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修への職員の参加や当団体独自の職員研修を実施する。</li> <li>・業務に必要な資格の取得をサポートする。</li> <li>・職員提案制度を実施し、職員のモチベーション向上と意識改革を図る。</li> </ul>

##### (3) 財務管理

収入確保の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コストの増加に見合った利用料や商品の値上げを検討する。</li> <li>・商品販売提供事業において、独自商品の販売を行う。</li> <li>・市から新たな業務を受託できるよう、協議や調査を実施する。</li> </ul>
----------	--

基本財産等の運用

・基本財産及び現時点で使用する予定のない資金に関して、国債等の元本が保証された金融商品で運用し、可能な限り収益を確保する。

5. 財務状況の見通し（試算）

年度		R8	R9	R10	R11	R12
緑 化 事 業	当期収入	453,555千円	453,263千円	453,218千円	452,837千円	452,827千円
	当期支出	453,555千円	453,263千円	453,218千円	452,837千円	452,827千円
	当期収支差額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	次期繰越収支差額	111,080千円	111,080千円	111,080千円	111,080千円	111,080千円
ス ポ ー ツ 振 興 事 業	当期収入	636,945千円	541,325千円	435,179千円	433,913千円	432,781千円
	当期支出	636,945千円	541,325千円	435,179千円	433,913千円	432,781千円
	当期収支差額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	次期繰越収支差額	355,909千円	355,909千円	355,909千円	355,909千円	355,909千円
活 動 ミ 促 ユ 進 ニ 事 テ 業 イ	当期収入	540,296千円	364,118千円	365,403千円	365,402千円	365,406千円
	当期支出	540,296千円	364,118千円	365,403千円	365,402千円	365,406千円
	当期収支差額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	次期繰越収支差額	73,220千円	73,220千円	73,220千円	73,220千円	73,220千円
都 市 施 設 運 営 整 備 事 業	当期収入	461,846千円	516,345千円	588,113千円	588,114千円	588,114千円
	当期支出	432,583千円	480,170千円	657,181千円	655,239千円	651,500千円
	当期収支差額	29,263千円	36,175千円	△69,068千円	△67,125千円	△63,386千円
	次期繰越収支差額	1,836,708千円	1,872,883千円	1,803,815千円	1,736,690千円	1,673,304千円
商 品 販 売 提 供 事 業	当期収入	208,263千円	206,563千円	203,885千円	203,885千円	203,885千円
	当期支出	202,974千円	188,302千円	202,663千円	202,297千円	202,489千円
	当期収支差額	5,289千円	18,261千円	1,222千円	1,588千円	1,396千円
	次期繰越収支差額	141,653千円	159,914千円	161,136千円	162,724千円	164,120千円
共 通 事 業	当期収入	307千円	307千円	307千円	307千円	307千円
	当期支出	307千円	307千円	307千円	307千円	307千円
	当期収支差額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	次期繰越収支差額	80,000千円	80,000千円	80,000千円	80,000千円	80,000千円
法 人 管 理 等	当期収入	20,834千円	20,398千円	20,199千円	18,587千円	17,541千円
	当期支出	20,834千円	20,398千円	20,199千円	18,587千円	17,541千円
	当期収支差額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	次期繰越収支差額	71,556千円	71,556千円	71,556千円	71,556千円	71,556千円

況	合 計	当期収入	2,322,046千円	2,102,319千円	2,066,304千円	2,063,045千円	2,060,861千円
		当期支出	2,287,494千円	2,047,883千円	2,134,150千円	2,128,582千円	2,122,851千円
		当期収支差額	34,552千円	54,436千円	△67,846千円	△65,537千円	△61,990千円
		次期繰越収支差額	2,694,959千円	2,749,395千円	2,681,549千円	2,616,012千円	2,554,022千円
	総資産	3,050,459千円	3,111,036千円	3,083,909千円	2,971,062千円	2,917,466千円	
	総負債	355,500千円	361,641千円	402,360千円	355,050千円	363,444千円	
	当期正味財産増減額	34,552千円	54,436千円	△67,846千円	△65,537千円	△61,990千円	
	正味財産	2,694,959千円	2,749,395千円	2,681,549千円	2,616,012千円	2,554,022千円	